

発行所：石川自治センター

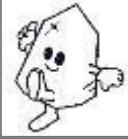
発行者：石川自治センター長 大竹富雄

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

TEL26-1554 (FAX も同)

石川自治センター だより



石川地区敬老会実行委員会開催



令和2年度第69回石川地区敬老会実行委員会は、8月5日(水)午後1時30分からモトガッコで、行政区長・民生児童委員・町役場・自治センター関係者34名が出席して行なわれた。実行委員会は協議に先立ち主催者を代表して、町役場保健福祉課から、敬老会実施要綱、実施計画について説明。要項では、「今年度については、新型コロナウイルス感染症のリスクを踏まえ、式典・アトラクションは開催せず、祝賀状及び各地区の敬老者名簿を対象者に配布

する。」外が提案され、実行委員会で協議された。実行委員長に石川地区区長会会長の瀬谷守夫氏(松木下区)、副委員長に石川地区区長会副会長の山田耕見氏(王子平区)と民生児童委員石川地区区部長渡邊紀男氏(北町区)、庶務会計を石川自治センターで行うことが承認された。協議は、瀬谷委員長を座長に委員会が進められた。①令和2年敬老対象者は、1039名75歳50名88歳54名。金婚夫婦6組②お祝金(75歳、88歳、記念品(名入れタオル)、敬老者名簿の配布。③敬老者への配布は、各行政区毎に実行委員(行政区長・児童民生委員)の方々が自宅へ届ける。④お祝金、記念品は10日以降に配布されます。以上のことが確認及び承認された。コロナ禍で例年とは違い実行委員の方々はご苦労をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

石川町の防災を考える意見交換会

石川地区区長会(瀬谷守夫会長)は、6日石川自治センターに14行政区長、総務課防災対策室、石川自治センターが出席し、石川町地域防災計画の改訂「安全で住みよいまちづくり」の実現の為に、昨年の台風19号災害等を踏まえ、地域の代表者である区長と意見交換をした。意見交換は、防災対策室鈴木茂彰室長が台風19号災害の各地区被害状況をスライドで説明、4つの整備①防災組織の整備②防災体制の整備③避難所施設の整備④避難所環境の整備について町としての考え方、地域での考え方や整備体



・ダムの警報について防災行政無線との同期を。・ダムの警報や、災害情報等、住民への周知を丁寧に行ってほしい。・避難指示について。・災害時における消防団組織の対応。・災害ゴミの収集、仮置き場の設定。・役場職員の対応がよくなかった。・各自がリアルタイムで災害情報を見ることができる方法を検討。・スマホを活用したアプリの利用・広報無線が聞こえなかった。・個人の避難勧告、指示に対する判断 いつ避難すればいいのか。・感染症対策と避難所について定員は？箇所は？・避難するときの駐車場の確保。・命を守る行動、避難方法の検討。・各地区における地域防災計画の見直し。・昨年災害の検証をいつするのか、住民には報告されたのか。・渡里沢川の対応(大学等との共同研究)・ダムのリアルタイムカメラの設置。・災害対応時の区長の役割を明確に。・川、山間、農村地区、情報が到達しない、河川流域の情報を。・う回路表示の方法、う回路表示が不適切。・消防団を情報発信者として活用できないか。・他町村との連絡調整。・河川流域情報(阿武隈川本流、社川上流)の迅速な取得が重要である。・行政区長の(災害時)を明確に。・議会報告会回答について(組回覧で終わらすのか)以上。

制については説明し、意見交換をした。意見は左記の通りです。

*行政区長より、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

まちなか朝市ご来店ありがとうございます。

コロナ禍の中、まちなか朝市(山田達也会長)は、8月に入り、好天にも恵まれ、多くのお客様にご来店いただいています。12日(水)特別開催として花市を行いました。お盆に合わせての、土曜日以外の開催(1回のみ)を毎年行っています。花市は、例年ほどの賑わいでは無かったが、花やお盆用品を求めのお客様が来店した。15日は、お盆休みをいただき休業としました。休業案内が不備の為か来店したお客様があり、ご迷惑を掛けました。申し訳ございませんでした。



8.12(水)特別開催花市の様子。



8.22 梨販売の様子。

24日再スタートしました。早いお客様は、準備中の6時半頃からいらつしやり、品定めをしながら開店を待ちわびて居ました。熱中症防止、感染症予防の為に、品揃えが出来た店舗より販売を開始する事になりました。7時開始前の販売となりましたが、野菜高騰の状況下、花市の時より来店するお客様が多かったようです。朝市に新しい仲間が参加、石川町曲木果樹農園から永沼政敏さんが梨販売をしました。長梅雨、猛暑の影響で市場に出せない梨を訳アリ商品として販売しました。まちなか朝市は、新型コロナウイルス予防対策を継続し11月中旬迄毎週土

まちなか工房籐手芸教室コラッセふくしま初出店へ

石川自治センターまちなか工房つくつぺ籐手芸教室(矢内文子講師)は、コラッセふくしま(福島県観光物産館)で、今年初のイベント出店となった。コロナ禍の影響で4月のいしかわ桜フェスタや6月会津工人まつり等中止となり作品披露の場が無かった。21日、23日迄の3日間、コラッセ特設会場で行われた。山ぶどうバックや財布、くるみバックやあけびバック、山ぶどうのイヤリン



曜日開催致します。ご来店をお待ちしております。宜しくお願い致します。

グ等約300点を展示・販売した。山ぶどう作品は、昨年の移動研修で採取した材料で製作された作品が並んだ。21日の初日には、福島民友・民報新聞社、22日は福島テレビが取材に訪れ、新聞紙面、夕方のテレビで放映された。「山のビトン」と紹介したマスコミもあつた。山ぶどう作品目当てのお客様が多く、教室での製作過程、山ぶどう採取の様子を説明していた。石川町の、のぼり旗や教室活動の写真を貼り、チラシ配布等で町のPRにも一役買っていた。矢内講師と教室生徒さんには、3日間接客販売に大変お世話になりました。ありがとうございます。

石川町文化祭開催へ
18日モトガッコにおいて、石川町文化祭(展示部門)代表者会議が行われた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて実施します。展示部門の日程は10月30日搬入、31日、11月2日展示、片付け。参加団体確認をして、実行委員会を行う予定。

ソーシャルデスタンスで楽しく運動



トレーニングルームで筋力アップ



9月度行事予定*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
17	木	新田寿健康大学学習会 8:00~	新田ふれあい
毎週	土曜日	5. 12. 19. 26 まちなか朝市 7:00~	石川自治センター

